

活動名		オリジナル缶バッジ			
概要	○台紙に、色鉛筆やマジックで文字や絵を描き、缶バッジマシーンで思い思いの作品をつくる。				
ねらい	○自然の家での思い出や、ふりかえりの活動として、作品づくりを行う。				
関連教科等	図画工作・理科・社会・総合				
指導形態	①自主活動で実施、②職員は活動の説明のみ行う、③職員が指導を行う				
時期	通年	時間帯	日中	対象	幼児～
場所	創作棟・他	人数	何人でも	所要時間	0.5～1時間
準備物	施設で準備できるもの		団体・個人で準備するもの		
	缶バッジマシーン、色鉛筆、台紙 缶バッジパーツ		なし		
進め方・展開例					
内容			留意点		
活動前	○打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・人数、材料の数、活動の進め方		○職員からの指導が活動の説明のみの場合は、活動の進め方や安全面、片づけ等について十分確認する。		
活動の説明	○作成手順を理解する。 ○例となる作品を見てイメージをつくる。		○創作説明用のシートを使用する。 ○自然の家での活動を思い出し、印象に残った場面などを想起させる。		
展開	○手順に沿って、作品をつくる。 ①好きな台紙を選ぶ。 ②使う道具を準備する。（色鉛筆、マジック、缶バッジマシーン等） ③台紙に文字や絵を描き、作品を仕上げる。 ④パーツを缶バッジマシーンにセットし、プレスして作成する。		○自然の家での活動をふりかえり、感じたことや学んだことなどを文字や絵で表現するよう指導する。 ○パーツの上下を間違えないように注意する。		
まとめ	○片づけをする。 ○お互いの作品について発表し合い、よさを認め合う。				
評価	○自然の家での活動をふりかえる作品になっているか。				
発展	○研修の最初の活動として設定し、活動の目標などを記入して活動中に身につけることで、意識を高めることもできる。				